

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
病理学総論	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	星野 ちなみ ※
授 業 概 要					
疾病の病因を学び、疾病の発生機序を学習する。また疾病による特徴的な肉眼的・組織学的な変化について学習する。					
到 達 目 標					
1) 病理学の方法論と歴史を知る。 2) 退行性病変・進行性病変の概要を説明できる。 3) 循環障害について病理学的に説明できる。 4) 炎症について説明できる。 5) 免疫の概要を説明できる。 6) 腫瘍の特徴を説明できる。 7) 代表的な遺伝子疾患を説明できる。					
実務経験のある教員					
星野 ちなみ：病院での臨床経験を踏まえ、病気の原因や病気の成り立ちについて解説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	病理学の概要	病理学の歴史、疾患の病因と病理学			星野 ちなみ ※
2	細胞障害	細胞障害について			〃
3	退行性病変	変性、壊死、萎縮			〃
4	進行性病変	肥大、過形成、再生、化生、創傷治癒			〃
5	循環障害(1)	充血、うっ血、出血、塞栓症、梗塞			〃
6	循環障害(2)	ショック、D I C、浮腫			〃
7	炎症(1)	炎症の徴候、原因、過程、炎症細胞			〃
8	炎症(2)	慢性炎症、感染症			〃
9	免疫(1)	抗原と抗体、細胞性免疫と液性免疫、アレルギーの種類			〃
10	免疫(2)	臓器移植と拒絶反応、免疫不全症、自己免疫疾患			〃
11	腫瘍(1)	腫瘍の分類、肉眼的性状、			〃
12	腫瘍(2)	転移、進行度と病期			〃
13	腫瘍(3)	発癌の機序、腫瘍と宿主の関係			〃
14	遺伝性疾患(1)	遺伝子とは、染色体について、遺伝病			〃
15	遺伝性疾患(2)	染色体異常症、遺伝子診断			〃
学 習 方 法					
病気についての基本的な考え方を学ぶ。人体と構造と機能の知識を整理しながらしっかりと理解する。					
評 価 方 法					
学科試験により評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
臨床工学技士標準テキスト 第4版		小野哲章 他		金原出版	
カラーで学べる病理学 第5版		渡辺照男		ヌーヴェルヒロカワ	
配布資料					